

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 つるぎ町

標準収入額 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額 C	標準財政規模 A+B+C
1,173	3,655	266	5,094

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	7,905	7,746	159	157	22	10,004	
剣山木綿温泉会計	20	18	2	2	5	-	
剣山スキー場会計	8	8	-	-	2	-	
一般会計等	7,926	7,765	161	159		10,004	

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足 額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険事業(事業勘定)事業特別会計	1,861	1,567	294	294	149	0	0	
国民健康保険事業(施設勘定)事業特別会計	70	48	22	22	14	3	1	
簡易水道事業特別会計	153	147	6	6	112	100	83	
老人保健事業特別会計	1,927	1,927	0	0	204	0	0	
介護保健(事業勘定)特別会計	1,566	1,435	131	131	218	0	0	
介護サービス事業特別会計	90	87	3	3	56	0	0	
農業集落排水事業特別会計	33	26	7	7	15	296	110	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	773	760	13	13	31	1,365	954	
つるぎ町水道事業会計	130	116	14	220	12	351	0	法適用
つるぎ町病院事業会計	2,196	2,134	62	511	160	3,000	1,965	法適用
公営企業会計等 計				1,207		5,115	3,113	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては、総収益、総費用、純損益の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足 額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
徳島県市町村議会公務災害補償等組合	1	1	0	0	0	0	0	
徳島県市町村総合事務組合(一般会計)	7,570	7,562	8	8	877	0	0	
徳島県市町村総合事務組合徳島県環境保健課 特別会計	90	68	22	22	0	0	0	
徳島県後期高齢者医療広域連合	663	637	26	26	1	0	0	
美馬広域行政組合(一般会計)	55	43	12	12	0	0	0	
美馬広域行政組合(みまふるさと共同事務組合特別会計)	25	19	6	6	0	0	0	
西阿老人ホーム組合	219	194	25	25	0	1	0	
美馬西部青少年育成センター組合	23	20	3	3	0	0	0	
美馬西部共立火葬場組合	16	14	2	2	0	0	0	
美馬環境整備組合	1,481	1,424	57	57	0	2,677	774	
吉野川環境整備組合	217	203	14	14	0	0	0	
美馬西部消防組合	674	603	71	71	0	3	0	
美馬西部学校給食センター組合	240	235	5	5	0	0	0	
美馬西部特別養護老人ホーム組合	481	411	70	70	71	669	407	繰出金43
美馬食肉センター組合	16	12	4	4	7	0	0	繰出金2
一部事務組合等 計				325		3,350	1,181	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
(有)ミマコンポスト	27	13	0	0	0	251	46	32	
つるぎ町土地開発公社	0	6	5	0	0	0	0	0	
真光ゆうゆう館	3	32	11	0	0	0	0	0	
ラフォーレつるぎ山	8	23	26	0	0	0	0	0	
地方公社・第三セクター等 計			42	0	0	251	46	32	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		459	
減価基金		480	
その他充当可能基金		876	
充当可能基金 計		1,815	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいり、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	3.79	3.12	0.67	14.94	20.00	簡易水道事業会計		24.9	
連結実質赤字比率		26.82		19.94	40.00	農業集落排水事業会計		113.1	
実質公債費比率	15.9	15.8	0.1	25.0	35.0	特定環境保全公共下水道事業会計		-	
将来負担比率		101.5		350.0		つるぎ町水道事業会計		170.5	
財政力指数	0.22	0.23	0.01			つるぎ町病院事業会計		24.3	
経常収支比率	102.9	99.5	3.4						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(-)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。